

陳 情 文 書 表

受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名	陳情第240号（8.10.9） 高倉台保育所再編時期の見直しに関する陳情
陳 情 の 要 旨	1. 現在在園している子供たちが可能な限り現在の環境で卒園できるよう、2028年4月からの運営主体変更時期を延期・中止含めて慎重に再検討すること。 2. 民間事業者の選定前から、現在の保護者や在園児の声を聞き、今後の方針と対応を慎重に再検討の上、運営主体変更に伴う詳細事項を明確に説明すること。 3. 現在在園している子供たちが卒園する前に民間事業者へ移行となった場合、現在利用している保育サービスについて、同等の内容・水準で継続して利用することを保障すること。
陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市須磨区 横田 恵美 ほか2名
送 付 委 員 会	教育こども委員会

2026 年 10 月 9 日

神戸市会議長 様

(住所) 神戸市須磨区

(氏名) 代表 横田 恵美 

高倉台保育所再編時期の見直しに関する陳情

【陳情趣旨】

高倉台保育所について、2028 年 4 月から民間事業者による運営へ移行する方針が示されています。しかし、現在高倉台保育所で生活している子どもたちにとって、保育士との信頼関係や友達との繋がり、慣れ親しんだ生活環境は安心して園生活を送るために大切なものです。また、保護者にとっても子どもたちが楽しそうに生活している姿に安心し、喜びを感じ、保育士に信頼を寄せて預けていることも確かです。

運営主体の変更に伴い、保育士や生活環境、通園方法等が同時に変化することは、現在在園している子どもたちにとって大きな環境変化となり、精神面の成長にも大きな負担となりえる可能性があります。

高倉台保育所は築 53 年であり、施設の改修等が必要なことは理解しています。しかし老朽化対策と運営主体変更は別々に検討できるのではないのでしょうか。

また、2027 年度は改修をしながら保育を継続するとのことですが、改修時期や期間、内容、安全の確保等の詳細はなにも示されていません。

行政上の再編スケジュールを優先するのではなく、まずは現在在園している子どもたちが寂しさや不安を抱えることのないよう、慣れ親しんだ環境の中で安心して過ごし、卒園できることを最優先に考えていただきたいと思います。

以上の理由から、以下の事項について陳情いたします。

【陳情事項】

1. 現在在園している子どもたちが可能な限り現在の環境で卒園できるよう、2028 年 4 月からの運営主体変更時期を延期・中止含めて慎重に再検討してください。
2. 民間事業者の選定前から、現在の保護者や在園児の声を聞き、今後の方針と対応を慎重に再検討の上、運営主体変更に伴う詳細事項を明確に説明してください。
3. 現在在園している子どもたちが卒園する前に民間事業者へ移行するとなった場合、現在利用している保育サービスについて、同等の内容・水準で継続して利用することを保証してください。

以上